

## 「火の国まつり縦踊り」後の

街中清掃を  
実施しました！

今年で3回目となります、「火の国まつり縦踊り」後の清掃活動を、8月10日に実施いたしました。

今年は、幸山市長も参加され、130名のボランティアさんと共に、早朝から汗を流されました。参加された皆さん、本当に疲れ様でした。

今回、皆さんに暑い中清掃をしていただいた結果、450kgのゴミ袋に換算すると、40袋分のペットボトル・空き缶・空き瓶等が集まりました。昨年と比較すると、22袋減でした。

来年は、もっとゴミが減っていくことを願っています。



第18号  
2008.9

HEY!  
お待ち!  
出前講座やります。

あいぼーじでは、「ボランティア活動って何?」「NPOって何?」といったボランティア活動等に関する「疑問」にお答えしたり、様々なNPO活動の紹介を、職員が地域やグループの集まりでお話をさせていただく「出前講座」を実施しています。

熊本市内に在住、在勤または在学している5人以上で構成された、団体・グループであれば、どなたでもお申込みできます。

また、熊本市内で活動されている市民活動団体の皆さんを紹介した「公益活動事例集」を作成しましたので、「出前講座」の中で併せてお紹介させていただきたくと思っています。

出前講座のお申込み相談は、  
「市民活動支援センター・あいぼーじ」  
(328-2868)  
もしくは「市民協働推進課」(328-2036)  
までお連絡下さい。



# はじめての一步

リユース!

皆さんは、ご存知ですか？

熊本市役所1階（国民年金課前スペース）にもボランティア募集情報やボランティア関係のチラシ・パンフレット等を設置しています。

その『あいぼーじ・ボランティア情報コーナー』

を先日、リユースしました。

より明るく・より見やすく・

分野別との情報盛りだくさん！

市役所にお越しの際は、ぜひ立ち寄り、ご利用ください。



心

今年で1歩第18号編集担当の、いくティです。  
今回の特集は、最近話題の「エコ」。熊本市でも、たくさんの方がエコ活動をされています。その方々のハートは非常に熱く、話を聞いていると、活動を楽しみながらも、真剣なハートフルメッセージとして、から人へと確実に伝わっている感じました。  
『皆で地球を守っていく！』エコ活動を通して、世界中の人々とのチームワークを実感できるかもしませんね！

〒860-8601  
熊本市手取本町1番1号 熊本市役所12階  
熊本市市民活動支援課 電話 096(328)2036  
Eメール shinminkyoudou@city.kumamoto.lg.jp

【編集・発行】〒860-8606  
熊本市花畠町7番10号 熊本市産業文化会館1階  
熊本市市民活動支援センター・あいぼーじ  
電話 096(328)2868 FAX 096(322)6677

「かかよかボランティア  
登録団体研修・交流会」  
の開催について

あいぼーじでは、登録いただいている団体の皆さんを対象に、活動の原点である「市民活動の役割」について考え、そして、参加いただいた団体の皆さん同士の意見交換等の交流の場として、次の様な研修・交流会を開催します。

日々熱い想いで活動されている皆さんと交流するとして、新たな「情報」と、新たな「元気・勇気」を得る事ができるのではないかと考えます。

参加人数に制限はあります、多くの皆さんの参加をお待ちしております。

★開催日時・平成20年10月28日(火)18時～19時30分

★開催場所・崇城大学市民ホール(市民会館)第5・6会議室

★開催内容①基調講演「ボランティア・NPOと行政について」

講師 NPO法人ココロケーション・コンサルティング熊本理事長 河添博幸氏

②参加団体の皆さんの活動紹介

参加された皆さんの日常の活動内容について、あいぼーじ職員より紹介させていただきます。

※研修会終了後、懇親会を予定しております。

(19時30分～21時30分)

★参加人数・50名(1団体からの参加は3名までとし、

先着50名に達した時点で締め切らせていただきます。)

★参加費用・無料(ただし、懇親会参加者は実費を負担いたします。)

★参加申込・市民活動支援センター・あいぼーじへ、

電話・メールでお申込ください。



## NPO法人 コロボックル・プロジェクト

**活動内容**

金峰山山系の調和のとれた自然環境の保全と共に、地域の活性化を目指し、自然環境（木タルやタナゴ、ムササビ、カヤネスミ等の動植物、川の水質）の調査・研究や、金峰山周辺の湧水めぐり、その他花園公民館事業「子どもチャレンジ公民館」ととの共催でカヌー体験等に取り組んでいます。

また、自然環境調査の結果については、コロボックル探検隊や里山フォーラム、ホームページ等で紹介し、多くの方に自然の大切さを伝える活動を行っています。

**活動のきっかけ**

金峰山山系の花園地区で自然環境調査や保全活動、子どもの自然体験活動、まちづくり活動を行っている者が集まり、人と自然の共生を目指していくための様々な活動を始めました。

**市民の皆さんに伝えたいこと**

日本の名水百選に選ばれた金峰山周辺の自然や歴史・文化など地域の良さを、多くの人に知って楽しんでもらいたいです。

また、多くの自然と、そこに生息する生き物とのふれあいを通して、将来を担う子どもたちに自然の大切さを学んでもらえたらいいなと思います。



## 地球まるごとリサイクル工場

**NPO法人 天明水の会**

**活動内容**

かつての豊饒の海、有明海を復活し、地域の元気を取り戻したいという思いから、旧天明町を拠点とした地域づくりの会を発足させました。水の循環をテーマにしたまちづくりに取り組み、緑川の一斉清掃やカヌーによる環境教室等を開催しています。

また、海の復活には豊かな森の再生が不可欠との考えから、漁民による植林（「漁民の森」植林運動）にも取り組んでいます。

**活動のきっかけ**

「地域を元気づけるにはどうしたらいいか？」

地域に住む有志が集まり、地域のあり方などの夢を語り合う中で、自分達のまち（農業と漁業のまち）で、農業・漁業両方の共通のテーマである「水」について取り組むことにし、海岸線の清掃活動から始めました。



かつての豊饒の海、有明海を復活し、地域の元気を取り戻したいという思いから、旧天明町を拠点とした地域づくりの会を発足させました。水の循環をテーマにしたまちづくりに取り組み、緑川の一斉清掃やカヌーによる環境教室等を開催しています。

また、海の復活には豊かな森の再生が不可欠との考えから、漁民による植林（「漁民の森」植林運動）にも取り組んでいます。

## 活動のきっかけ

「地域を元気づけるにはどうしたらいいか？」

地域に住む有志が集まり、地域のあり方などの夢を語り合う中で、自分達のまち（農業と漁業のまち）で、農業・漁業両方の共通のテーマである「水」について取り組むことにし、海岸線の清掃活動から始めました。

**市民の皆さんに伝えたいこと**

子供たちに、自分たちの町を誇れる大人になってもらいたい。

そのためにも、子供たちを巻き込んだ取り組みを、今後も続けて行きます。



**活動内容**

個人、「地球温暖化防止活動推進員」（熊本県知事より委嘱）、団体や企業、自治体などが連携して地球温暖化防止活動に取り組むため、温暖化防止・環境保全活動の現状やその重要性についての啓発・広報、また、それを行う人や団体への支援として、活動に関しての紹介・相談・助言や情報発信を行っています。今後、地域に根ざした活動を広めていくためにも、環境省や熊本県、各自治体と一緒につなげて温暖化防止にむけた事業を行っていきます。（熊本県より地球温暖化防止活動推進センターの指定を受けています。）

**活動のきっかけ**

「地球温暖化防止」に関する活動を、それに関係する県内の個人やボランティア団体、企業グループなどが団結し、行政と一緒につなげて支援する組織を作るため、熊本県からの呼びかけで、平成18年1月に設立しました。

**市民の皆さんに伝えたいこと**

地域で解決できる環境問題はたくさんあります。温暖化防止には、一人ひとりの実行が大切ですが、皆で行動することで大きな効果に繋がって行きます。

市民の皆さん、一人ひとりが主となって、地域に根ざした活動に取り組み、それぞれの「地域力」によって住みよい熊本をつくっていきましょう。



**全国牛乳パックの再利用を考える連絡会 熊本県ネットワーク**

**活動内容**

環境資源の大切さを多くの方に伝え、使い捨ての生活を見直すために、使用済み牛乳パックの回収ボックスの設置、及びリサイクル推進のための活動を行っています。

リサイクル推進では、子どもたちに対して、資源物分別体験学習会や環境に関する講演会、牛乳パックを使っての手書きはがき、卒業証書作りの実演等を行なっています。

また、再使用するリユースブルブルの活用促進や、酒パックを回収する酒店「エコ酒屋」の広がりのための活動にも取り組んでいます。

**活動のきっかけ**

1985年に、主婦のグループの提案による牛乳パック回収の動きが全国的に広がり、熊本でも公共施設等に回収ボックスを設置する運動に取り組み始めました。



**市民の皆さんに伝えたいこと**

緑の地球を残すために、物を大切にする心を人から人へ伝えていには、人と人が想い合い、優しさを持つた心の交流が出来る社会でなければなりません。

そのためには、子どもたちから環境教育に力を入れるこしが大切と考えます。子どもたちの意識が変わる事で大人の意識、ひいては社会の変化につながると思います。

